

1 目的

- (1) 共感的に学び合う集団づくりを基本とし、心のふれあいを通して児童と教師、児童同士の間に関心を持った信頼関係を深めます。
- (2) 基本的な生活習慣を身に付け、児童自らがよりよい生活をしていこうとする態度を育てます。

2 内容

(1) 児童理解を深める

- ・ 年3回(5月・11月・2月)の生活アンケート(教育相談)を行う他、「楽しい学校生活を送るためのアンケート」(hyper-QU)を年2回(5月・11月)実施して結果を分析しました。6月には、講師(杉村秀充先生)を招いて、各学級の実態に応じたよりよい学級集団をつくるための手立てや児童への支援の在り方について助言を受け、個々の児童に対する理解を深め、学級集団づくりに生かし、「楽しい学校・学級づくり・仲間づくり」を進めました。
- ・ 講師(浅井晃先生)を招いての「特別の教科 道徳」の授業研究や、保護者への授業公開(10月授業参観)を全学級で行い、道徳科の授業を要とした道徳教育の推進を図りました。

(2) 児童相互の絆を深める

- ・ 心と心のふれあいを通して、温かな人間関係づくり、よりよい学級の雰囲気づくりを目的として、講師(奥村桂子先生)を招き、5年生を対象に構成的グループエンカウンター授業を年に2回(6月・11月)に行いました。11月には、5年生での奥村先生の授業を全職員が参観し、研修会を行いました。研修会では、実際にエンカウンターエクササイズを紹介してもらい、職員が実際に体験することで、研修を深めることができました。
- ・ 児童集会や青空タイムでの遊び、運動会の種目を異学年集団(青空グループ)で行うことにより、児童の協調性や社会性を養いました。また、定期的に青空グループで除草作業を行い、児童相互のつながりを深めると共に、校内美化への意識を高め、篠田小の一員であるという自覚と愛校心の醸成を図りました。
- ・ 講師(堀田みどり先生)を招いて、全学年で合唱指導を行いました。学習発表会や卒業式に向けての合唱練習を通して、「歌声を一つにまとめること」「他者と歌声を響き合わせること」の心地よさを体感することができました。



【エンカウンター研修】

3 評価

- (1) 生活アンケート(教育相談)やhyper-QUの分析を生かして、児童一人一人が何に困っているのか、悩んでいるのかを掴むことができ、早い段階での支援をすることができました。また、学級集団をさらにより状態にするための取組を通して、児童と教師、児童同士の心のつながりを深めることができました。
- (2) 心と心の触れ合いを目的とした活動を年間を通して行う中で、同学年児童だけでなく、異学年児童同士の交流も深まり、高学年児童が低学年児童を思いやり、声をかけたり励ましたりする姿が見られる等、学級、学年を超えた温かい人間関係を築けるようになってきました。

4 課題

- ・ 教育活動全体を通じた道徳教育、人権教育を推進し、児童一人一人が自他を大切にし、互いに高め合える学級づくり・仲間づくりをさらに目指していきたいと考えます。
- ・ 地域と連携しつつ、児童が自ら生活習慣を見直し、よりよい生活を送ることができるよう、児童の自覚を高めていきたいと考えます。